

大型地震発生を想定した防災訓練を実施 ～ 地元消防署の協力のもと、防災対策の再確認 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市中央区、理事長 高橋知史）は、都市型災害の頻発を受けて、防災対策の再確認と防災意識の向上を高めるため、3月6日（木）、当金庫本店で大型地震発生を想定した防災訓練を実施しました。本訓練は平成22年から実施しており、今年で11回目となります。

訓練では、大型地震発生および余震発生時の避難行動を中心として、火災時の初期消火やけが人の応急救護を実施しました。避難後には、大阪市中央消防署員による心臓マッサージおよびAEDの使用など救命処置の実演講習がありました。

当金庫は今後とも、消防署をはじめ各機関と連携した訓練を実施し、BCP（業務継続計画）の実効性向上に努めてまいります。

記

1. 開催日 令和7年3月6日（木）16時～16時30分
2. 場所 大阪シティ信用金庫 本店
3. 参加者数 本店役職員 約300名
4. 内容 当金庫職員による防災訓練、消防署員による救命処置の実演講習



けが人を応急救護する職員



大阪市中央消防署職員による実演講習

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

